

ナンバリングについて

シラバスに記されている「科目コード」は「ナンバリング」を意味しています。

「ナンバリング」とは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。

文部科学省が「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にて次のような答申を出しました。

『ナンバリング、あるいはコース・ナンバリング。授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み。1 大学内における授業科目の分類、2 複数大学間での授業科目の共通分類という二つの意味を持つ。対象とするレベル(学年等)や学問の分類を示すことは、学生が適切な授業科目を選択する助けとなる。また、科目同士の整理・統合と連携により教員が個々の科目の充実に注力できるといった効果も期待できる。』

○本学の「ナンバリング」は次の要素を組み合わせて付しています。

<例>

- ・ 学科情報 SH 食物 JI 児童 FU 福祉 EI 栄養 YO 幼教 SE 専攻科
- ・ 学年情報
- ・ 学期情報 1 前期 2 後期 3 通年 4 集中
- ・ DPの要素情報 0 1～ (表1)
- ・ 科目分類情報 K 教養・基礎科目 S 専門教育科目 B 別表科目
- ・ 区分情報 各学科で定める教育上の区分情報 (表2)
- ・ 必修情報 1 必修 2 選択必修 3 選択
- ・ 科目情報 (学則の並び順による連番)

例えば、栄養学科1年次前期に開講される、「現代生活論」の場合は、次のようになります。

- ・ 学科情報：EI ・ 学年情報：1 学期情報：1
- ・ DPの要素：1②
- ・ 科目区分情報：K ・ 区分情報：B ・ 必修情報：3
- ・ 科目情報：007

よって「現代生活論」のナンバリングは「EI12-1②-KB3-007」となります。

このナンバリング情報を参照することで、学科、学年、開講時期、科目分類や必修・選択の情報の他、ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針・修了認定の方針) との関係や、科目の区分情報などを確認することができます。

※表1 ディプロマ・ポリシーの要素情報

※表2 各科目の区分情報・科目情報

(表1) ディプロマ・ポリシーの要素情報

【食物学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. 関心・意欲・態度	1) 人の健康の維持・増進に関心を持ち、食を通じた課題解決に意欲を持つこと。	1①
	2) 専門的職業人としての使命感を有すること。	1②
③ 2. 思考・判断	1) 保健、医療、福祉、教育、特定給食施設等の現場における具体的な対応、実践を想定した多面的な思考、判断ができること。	2③
	2) 専門的職業人としての倫理観を有し、新しい創造的な思考、判断ができること。	2④
⑤ 3. 技能・コミュニケーション	1) 食・健康に関する諸課題を解決するための方法論や技能を身につけ実践的展開に必要な能力を習得すること。	3⑤
	2) 専門的職業人として円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション力を身につけること。	3⑥
⑦ 4. 知識・理解	1) 科学的根拠に基づいて、食・健康に関する専門的知識を基礎から応用まで体系的に修得すること。	4⑦
	2) 個々の身体状況・栄養状態に応じた栄養サポートや給食管理に関する知識を持ち、説明できること。	4⑧

【児童学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. 知識・理解	1) 子どもの文化や心身の発達について理解している。	1①
	2) 保育・教育や保育者・教育者の職責について理解している。	1②
③ 2. 専門職としての態度	1) 保育・教育に対する使命感と情熱を持ち、保育者・教育者としての職責を果たそうとする態度が身につけている。	2③
	2) 子どもの成長や安全、健康を考え、共に成長しようとする姿勢が身につけている。	2④
⑤ 3. 社会人としての基礎的能力	1) 社会人としての一般教養や、課題解決能力が身につけている。	3⑤
	2) 様々な人と協力・連携し、多様な考えを受け入れつつ自分の考えを伝え、良好な人間関係を形成することができる。	3⑥
⑦ 4) 実践的・応用的能力	1) 保育・教育の実践に必要な技術を習得している。	4⑦
	2) 個々の子どもの学習状況や発達状況に応じた保育・教育を実践することができる。	4⑧

【社会福祉学科】

分野	ディプロマ・ポリシーの要素	ナンバリング
① 1. Human Relation = 態度・意欲・関心	1) 人格の形成と豊かな教養を身につけ、柔軟な思考力そして何よりも豊かな人間性の涵養を図ること。	1①
	2) 個人や家族、地域社会におけるさまざまな生活課題・問題に深い関心と問題意識を持ち、その解決に向けて取り組む強い意欲と豊かな人間性を身につけること。	1②
③ 2. Head = 知識・思考・判断	1) ソーシャルワークに関する基礎的知識と専門的知識、さらにこれらに基づく社会福祉援助について理解できること。	2③
	2) 個人や家族、地域社会におけるさまざまな生活課題・問題の課題解決を目指すために、社会福祉政策について理解できること。	2④
	3) 福祉の理念、専門的知識と技術、加えてまちや地域づくりの知見を養う。地域社会やそこの暮らしの中で支援する視点を持ち、地域福祉の充実のため、生活援助の提案・実践力を身につけること。	2⑤
⑤ 3. Hand = 技術	1) 少人数教育により、専門分野の研究会参加や現場体験を重視し、社会福祉士として必要な現場対応力、実践力を身につけること。	3⑥
	2) ソーシャルワークに関する社会福祉援助技術について理解し、実践できるよう身につけること。	3⑦
	3) 地域社会やそこの暮らしの中で支援する視点を持ち、地域福祉の充実のため、まちや地域づくりの技法を身につけること。	3⑧
	4) 福祉分野の実務を支える様々なICT（情報通信技術）活用能力の修得を重視し、ICTリテラシーの涵養を図ること。	3⑨
⑩ 4. Heart = 価値・倫理	1) 人権尊重の価値と倫理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉ニーズを有する人の立場に立ち、その思いや暮らしに寄り添いながら援助を組み立て、実践できること。	4⑩
	2) 社会福祉士として社会に貢献できるよう、地域社会の暮らしに対する強い関心や問題意識、目的意識、柔軟な思考力そして何よりも豊かな人間性の涵養に努めること。	4⑪

(表2) 区分情報・科目情報<食物学科>

区分	授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
導入科目	1年次セミナー	A	必修	001
共通教養科目	人権教育	B	選択	002
	日本国憲法		選択	003
	心理学概論		選択	004
	日本語リテラシー		選択	005
	現代生活論		選択	006
	国際社会と日本		選択	007
	地球環境論		選択	008
SDGs 関連科目	キャリアデザイン論	C	選択	009
	ボランティア論(教育系)		選択	010
	ボランティア論(福祉系)		選択	011
	インターンシップ実習		選択	012
	ボランティア実習		選択	013
キャリア科目	情報リテラシーⅠ	D	選択必修	014
	情報リテラシーⅡ		選択必修	015
	情報リテラシーⅢ		選択必修	016
	調査と統計		選択必修	017
データサイ エンス科目	英語Ⅰ	E	必修	018
	英語Ⅱ		必修	019
	英語Ⅲ		選択必修	020
	英語Ⅳ		選択必修	021
英語資格認定Ⅰ	選択必修		022	
英語資格認定Ⅱ	選択必修		023	
フランス語Ⅰ	選択必修		024	
フランス語Ⅱ	選択必修		025	
韓国語Ⅰ	選択必修		026	
韓国語Ⅱ	選択必修		027	
中国語Ⅰ	選択必修		028	
中国語Ⅱ	選択必修		029	
留学生日本語Ⅰ	選択		030	
留学生日本語Ⅱ	選択		031	
外国語科目	レクリエーション概論	F	選択必修	032
	レクリエーション実技・実習		選択必修	033
	スポーツ健康講義		選択必修	034
	スポーツ健康実習		選択必修	035
スポーツ 健康科目	災害を知る	G	選択	036
	災害に備える		選択	037
連科目防災関	放送大学科目Ⅰ	H	選択	038
	放送大学科目Ⅱ		選択	039
単位互換科目	大学コンソーシアム岡山科目Ⅰ		選択	040
	大学コンソーシアム岡山科目Ⅱ		選択	041
学科基礎科目	基礎化学Ⅰ	I	選択	042
	基礎化学Ⅱ		選択	043
	栄養基礎化学		選択	044
	基礎生物学Ⅰ		選択	045
	基礎生物学Ⅱ		選択	046

授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
家庭経営学概論	A	選択	047
家族関係論		選択	048
衣生活論		選択	049
住生活論		選択	050
食生活論		選択	051
社会・健康	B	公衆衛生学 I	選択 052
		公衆衛生学 II	選択 053
		健康管理概論	選択 054
		社会福祉概論	選択 055
人体の構造と機能及び疾病	C	病理学	選択 056
		疾病診断と治療	選択 057
		解剖生理学 I	選択 058
		解剖生理学 II	選択 059
		解剖生理学実習 I	選択 060
		解剖生理学実習 II	選択 061
		生化学 I	選択 062
		生化学 II	選択 063
		生化学実験	選択 064
		微生物学	選択 065
基礎医学	選択 066		
食べ物と健康	D	食品学 I	選択 067
		食品学 II	選択 068
		食品学 III	選択 069
		食品学実験	選択 070
		食品学実習	選択 071
		食品衛生学	選択 072
		食品衛生学実験	選択 073
		調理学	選択 074
		調理学実習 I	選択 075
		調理学実習 II	選択 076
給食調理学実習	選択 077		
調理学実験	選択 078		
基礎栄養学	E	基礎栄養学 I	選択 079
		基礎栄養学 II	選択 080
		基礎栄養学実験	選択 081
応用栄養学	F	応用栄養学 I	選択 082
		応用栄養学 II	選択 083
		小児栄養学演習	選択 084
		高齢期栄養学演習	選択 085
		応用栄養学実習	選択 086
栄養教育論	G	栄養アセスメント	選択 087
		栄養教育論 I	選択 088
		栄養教育論 II	選択 089
		栄養教育論実習 I	選択 090
		栄養教育論実習 II	選択 091
カウンセリング	選択 092		
臨床栄養学	H	臨床栄養学概論	選択 093
		臨床栄養学各論	選択 094
		臨床栄養学実習 I	選択 095
		臨床栄養学実習 II	選択 096
		福祉臨床栄養学	選択 097
		福祉臨床栄養学実習	選択 098
栄養ケアプラン	選択 099		
公衆栄養学	I	公衆栄養学 I	選択 100
		公衆栄養学 II	選択 101
		公衆栄養学実習	選択 102
給食経営管理論	J	給食経営管理論 I	選択 103
		給食経営管理論 II	選択 104
		給食経営管理論実習	選択 105
総演習	K	栄養管理総合演習	選択 106
		臨地実習事前・事後指導	選択 107
臨地実習	L	臨地実習 I	選択 108
		臨地実習 II	選択 109
		臨地実習 III	選択 110
		臨地実習 IV	選択 111

授業科目	No	必修・選択の別	科目情報
管理栄養特別演習 I	M	選択	112
管理栄養特別演習 II		選択	113
管理栄養特別演習 III		選択	114
管理栄養特別演習 IV		選択	115
管理栄養特別演習 V		選択	116
管理栄養特別演習 VI		選択	117
管理栄養特別演習 VII		選択	118
管理栄養特別演習 VIII		選択	119
食料経済		選択	120
食事計画論		選択	121
学校栄養教育論 I		選択	122
学校栄養教育論 II		選択	123
家庭情報処理		選択	124
家庭経済論	選択	125	
被服構成学実習 I	選択	126	
被服構成学実習 II	選択	127	
保育及び家庭看護学	選択	128	
家庭電気・機械	選択	129	
食物学演習	必修	130	
卒業研究	選択	131	

授業科目	必修・選択の別	科目情報	
教職に関する科目	N	教職論	選択 132
		教育原理	選択 133
		教育心理学	選択 134
		特別支援教育の理解	選択 135
		教育課程論	選択 136
		教育経営論	選択 137
		家庭科教育法 I	選択 138
		家庭科教育法 II	選択 139
		道徳教育指導論	選択 140
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	選択 141
		教育方法技術論・情報通信技術教育論	選択 142
		生徒・進路指導論	選択 143
		教育相談	選択 144
		教職実践演習(中・高)	選択 145
		教職実践演習(栄養教諭)	選択 146
		事前事後指導(家庭)	選択 147
		事前事後指導(栄養教諭)	選択 148
		教育実習 I(家庭)	選択 149
教育実習 II(家庭)	選択 150		
教育実習(栄養教諭)	選択 151		